

滋賀県高島市マキノ地域のメタセコイヤ並木の協働型管理と地域活性化



自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ

赤澤 宏樹

街路樹や並木は、美しい景観をつくり、我々に癒やしを与えてくれます。一方で、その管理には手間暇や予算がかかり、行政にまかせているだけでは維持できません。近年では、「無くても困らない」という声もあり、街中では切られたり、小さな樹種に植え替えられることもあります。

どこででもできることではありませんが、美しい並木を観光名所にして、地域活性化を進める方法もあります。この事例では、スキー場や琵琶湖などでのレクリエーションとあわせて、他にない美しい並木景観をつくることで、多くの観光客が訪れる名所にすることができています。その育成や維持管理は、地域活性化を担う民間事業者も多く参画する「協働型」で行われています。身近な街路樹でも、みんなで育てる取り組みができるかもしれません。

【文献】川口将武・加我宏之・赤澤宏樹（2022）滋賀県高島市マキノ地域のメタセコイヤ並木における協働型管理の変遷と効果、環境情報科学論文集、36、32-37

